

令和元年6月26日(水)

安楽島小の児童が被災地へ義援金寄付

安楽島小学校の児童らが被災地への義援金を中村市長に寄託しました



小学校で集めた義援金が東日本大震災や熊本地震災害などの被災地へ届くようにと中村市長に手渡しました。この活動は、大規模災害で被災したみなさんを支援しようと平成24年から毎年行われており、今年で8年目となります。

福祉委員会委員長である6年生の三谷柚月さんは「被災地が一日でも早く元の生活に戻れるように願っています」と話してくれました。中村市長は、「実際にボランティアとして現地を数回訪れたことがあるが、そこで出会った人たちの喜ぶ顔が目に見える。こういった募金活動はとても良い経験にもなり、これからも色々な活動をしていただきたい」と感謝を述べました。

集まった義援金は25,140円になり、これらは日本赤十字社を通じて被災地へ届けられます。